

「八幡市子ども会議」だより

発行：八幡市教育委員会 令和6年3月

「八幡市子ども会議」とは

「八幡市子ども会議」は、「八幡市の未来を担う子どもたちが、あらゆる人に対する思いやりや、いたわりの心、生きることの尊さについて考え、人々が生涯を通じて等しく、充実した生活ができる社会をめざして、自分の意見を表明し、子どもの立場から議論・提言をすること」を目的とし、平成16年度から継続し20年目を迎えた取組です。

本年度は、市内小・中学校と京都府立京都八幡高等学校の児童・生徒28名の委員が、昨年6月から本年2月まで、八幡市をよりよくすることを目指し、自分たちで決めたテーマについて、話し合いや調査研究、インタビュー等を行い、市長への提言にまとめました。また、活動を進めるに当たり、立命館大学政策科学部 稲葉 光行教授に御指導いただくとともに、稲葉ゼミの大学生にも活動のサポートをしていただきました。

「令和5年度 八幡市子ども会議 -市長への提言-」

令和6年1月20日に八幡市社会福祉会館3階活動室にて、「八幡市子ども会議 -市長への提言-」を行いました。各班の主な提言内容を紹介します。

小学生A班「やわたけフェスティバル」

竹の消費機会を増やし、放置竹林を減らすとともに、八幡市の竹の魅力について広く知ってもらうために、竹工作体験や竹を使った作品の展示、地域の交流を生む音楽やダンスのイベントを合わせた「やわたけフェスティバル」の開催を提案しました。



小学生B班「八幡市の名産品を使ったオリジナル給食メニュー」

八幡市の子どもたちに新たな八幡の魅力を知ってもらうために、名産品を使ったオリジナル給食メニューを考え、提案しました。せんべいのような「八まんべい」、チュロスのような「ハチュロ」を作り、市長、教育長にも試食してもらいました。



小学生C班「公園カラフル化計画」

市内の公園の利用者が少ないと雑草が増え、その処理に予算がかかることに目を向け、八幡市で実施している行事のサブイベントとして、環境にやさしいチョークを使った公園でのらくがきイベントを実施し、公園利用者の増加や関心の高まりを促す取組について提案しました。



中学生班「八幡市キッズ健幸アンバサダーの活用」

八幡市内の健康無関心層の健康への意識を高めるため、八幡市のキッズ健幸アンバサダーを「によきによキッズ」と名付け、「ながら運動」の動画配信など、健康に関する情報発信の活動に取り組んではどうかという提言をしました。



高校生班「小学生と高齢者のeスポーツでの交流」

実際に市内の高齢者にeスポーツ体験してもらい、インタビューした結果から、小学生と高齢者がeスポーツを通じて交流する機会を設けることで、高齢化が進む八幡市の高齢者の認知症予防にもつながるのではないかと提案しました。



1年間の活動レビュー

夏休みには、市役所で、職員へのインタビュー活動をしました。



実際に調理をしたり、フィールドワークに出かけたり、体も心も動かして、調査・研究活動をします！



講評 立命館大学政策科学部教授 稲葉光行先生

子ども会議は「答えのない問題に取り組んで、答えを見つける」という文部科学省の通達にある学びをはるかに超える活動です。今年の委員の皆さんは、一を言ったら十を足すような「アイデアの足し算」をしてきました。子ども会議のような取組は20年前には世界中でも皆無でした。この貴重な子ども会議で、これからもアイデアを膨らませる足し算を続けることで、八幡市はもちろん、日本や世界も、もっとよくなっていくだろうと期待しています。

